

昭和七年八月十三日

點火線を貫つて五つの穴にマイトを裂し點火なし五穴を完全に點火なしたもかゝわらず勞務係はこれを如何に取扱つたか？  
二本のマイトを残し作業を止めてゐたと騒るける兼ねての麻生の持つ特有の暴力で一齋を解決しようとする弱き鑛山労働者は實に悲惨なものである。

筑豊炭田に於ける麻生の従業員大衆は  
永い間の克服生活を一齐に起つた！

筑豊隨一とほこる五坑を有し坑夫數千名を有する麻生太吉の經營する炭坑である多年坑夫達のストライキは暴制を絶体にやらないと云つて雄飛した麻生七年の今日に待遇改善の聲を坑夫大衆の中から起り去る八月十四日一致團結して日本石炭坑夫組合の支持に基き結成せられた爭議團は遂に改善要求するに至つた此處に一週間！

麻生は坑夫の要求を一蹴して拒否する態度に出た。吾等は最後に闘争を敢行すべき重大なる決意を持つて闘争を前に罪惡史を著する事は随分なる時間を必要とすると共に慘狀を極める現狀を物語る鑛山労働者の通信の一部をこゝに止める。  
只麻生が誇りてゐた暴力に依りてストライキを絶体にやらせないと言つた裏面に如何なるものがヒソソと居るか！それは言ふ迄